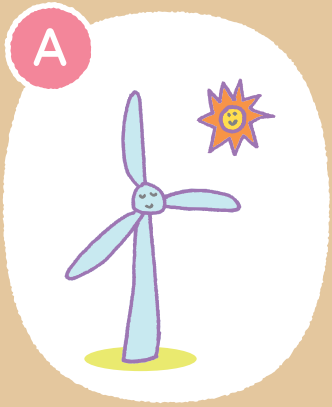
再生可能エネルギーは燃料いらずで、いいことがいっぱい?!

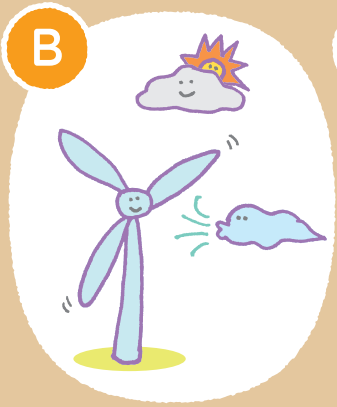
再生可能エネルギーには、いくつかのメリットが。
ただ、いろいろと課題もあるんです。長所と課題の両面からご紹介します。

ミラエネQuiz

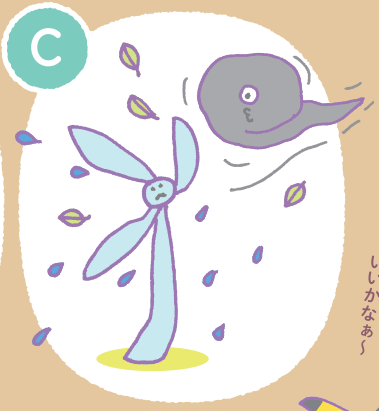
Q 風の力で風車を回す風力発電。いちばん発電できるのはどんな時?



風がなくて、とってもいい天気の時



曇りで風が吹いている時



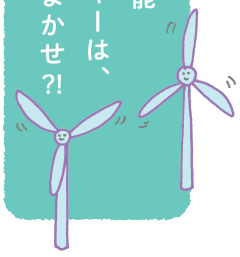
台風の時

答えはB。なぜだかわかりますか?

再生可能エネルギーには、太陽光、風力、地熱などがあり、これらを利用して発電します。でも、自然の力に頼るため、例えば風力発電の場合、風がない時には風車が回らず、発電することができません。また、台風の時のように風が強すぎると、設備が壊れる恐れがあるので風車を止めてしまいます。つまり、程よい風が吹いている時が、いちばん発電できるというわけです。

太陽光の場合は、浮き雲がかかっただけでも、発電量が少なくなるなど、その時々の天候に左右され、発電量が大きく変わってしまいます。こうした不安定さが、再生可能エネルギーを利用する上での共通の課題です。

再生可能エネルギーは、お天気まかせ?!



福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。

主な再生可能エネルギーのメリット・デメリット

メリット

★エネルギー資源が枯渇する心配がない。
★発電時にCO_2を出さない。
★純国産のエネルギー。

デメリット

太陽光発電の場合

×雨や曇りの日は発電量が少ない。
×夜間は発電できない。

風力発電の場合

×天候の影響を受けやすく、発電が不安定。
×風車が回転するときに音が発生する。

地熱発電の場合

×温泉施設などが点在する地域と重なり、地元関係者との調整が必要。

不安定な発電を火力発電が支えている

再生可能エネルギーは、発電の際に石炭や天然ガスなどの化石燃料がいらず、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO_2)をほとんど排出しないため、クリーンな発電方法として、積極的に導入されています。でも、その時々の天候で発電量が安定しないと、停電が起きる可能性もあり、安心して生活や仕事ができません。どうするのでしょうか。実は、そんなときのためにいつも火力発電が待機しているんです。天候によって発電量が減ってきた時、足りない分を火力発電でまかない、電気の安定供給を支えています。でも今度はそれによってCO_2が排出されることになってしまいます。万能なエネルギー資源はないのです。

かもじろうの発見！

再生可能エネルギーの活躍のかげで、実は火力発電が、がんばっているんだね。

ステキな「かざぐるま」ができました！

きらきら11月号の「ミラエネこうさく室」で募集した風車たちです。
たくさんのご応募ありがとうございます。

作品はっぴょう！ ミラエネこうさく室

＊スペースの都合により、お送りいただいた作品の一部をご紹介しています。何卒ご了承ください。

中部電力 広報部 コミュニケーション推進グループ お問い合わせ：052-951-8211 平日9:00〜17:00（土日祝、12/29〜1/3は除く）